

## 東串良町複合施設建設検討委員会 会議録

### 【会議名】

第2回東串良町複合施設建設検討委員会

### 【日 時】

2023年11月7日（火）13時30分～

### 【会 場】

東串良町役場 防災庁舎2階 対策本部室

### 【出席者】

・委員（15名）

柴田委員長、村山委員、柳井谷委員、清瀧委員、新福委員、甫村委員、野口委員、若松委員、重委員、宮野委員、吉田委員、立迫委員、丸山委員、尾方委員、上園委員

・事務局（企画課3名）

### 【会次第】

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 協議・報告
- 4 閉会

### 【協議・報告】

- (1) 前回委員会のふりかえり
- (2) 本町の財政状況について
- (3) 東串良町複合施設建設基本構想・基本計画の策定方針について
- (4) 詳細スケジュールについて
- (5) 複合施設の事例について
- (6) 住民アンケートについて

### 【会議結果要旨】

- ・総合センターと福祉センターでは重複する機能を解消しつつ、一つの場所が複数の機能を兼ねることも考慮しながら、面積の節約、コストの削減につながるよう検討を行う。
- ・庁内検討委員会、検討委員会それぞれの意見を共有しながら進めていく。
- ・事例視察先については機能の比較をできるよう、また、困りごとなど運営のことをヒアリングできるよう再調整を行う。
- ・日帰りの事例視察についても検討を行う。
- ・次回は1月18日（木）13:30～とする。

## 【会議経過】

### (1) 前回委員会のふりかえり

(委員長)

議事録について、箇条書きの形式にしてもらえるとありがたい。要点だけピックアップされたものを確認したい。

### (2) 本町の財政状況について

意見なし

### (3) 東串良町複合施設建設基本構想・基本計画の策定方針について

(委員長)

基本構想の中で、利便性等のほかにも、景観的、文化的視点としてこれまでの背景などを盛り込んでもらえるとうれしい。場所も良く便利も良いけど景観的によくないということは、ないと思うが入れてもらった方がよい。

また、運営方針についても入れてほしい。施設を作って終わりではなく、従来はサービスを提供する側、受ける側と分かれていたが、どちらかという、利用者が自分たちのリビング、領域の中のものを作るというものの方が長持ちするかと思う。そういう提案、住民参画の在り方も入れてもらえるとありがたい。

鹿児島大学の学生たちとの連携については、住民だけだとしがらみで言いづらい場合も、学生がいると言いやすいとか、学生がむちゃなことを言うこともあるが、常識に囚われないということもある。地元の方々にとっては利益ということではないかもしれないが、大きく日本全体で見ると、若い学生たちを育てる教育の題材として使わせてもらえると大学としてはありがたい。

(委員)

5頁の交流する喫茶、飲食などの部分について、例えばテナントを募集して家賃収入などを得ることを考えているのか。

(事務局)

現時点の回答になるが、どういった機能を入れていくのかを決めていく段階である。複合施設に必要なれば、運営の話が出たが、住民の方が参画しながら作るのも一つの形であり、指定管理で事業者の方に入っていただく形もあり、そういった形についても合意形成していければと考えている。

(委員長)

PFI等を考えているのか。

(事務局)

未だ考えていない、今後検討して良ければと考えている。

(委員長)

第4、5回の社会教育分野、福祉分野の有識者による勉強会では、できれば先進的な取組をされている方を呼んでいただけると、どう取り入れるのかという話はあるが、今のホットな方に来ていただくと有難いと思う。

(事務局)

想定している方がいるわけではなく、提案していければと考えている。

(4) 詳細スケジュールについて

意見なし

(5) 複合施設の事例について

(委員長)

平群町総合センターについてはご説明いただいたが、建物の規模と機能だけであると、私は建築が専門で分かるが、何が特徴的で何が参考になるかお示しいただいた方が良いかと思う。

(事務局)

説明を加えさせていただく。

(委員長)

安井設計事務所設計のものでなくても構わないので、事例をお示しいただけたらと思う。平群町総合文化センターのうち、人権啓発機能とはどのようなものか。役場の事務関係の諸室が入っているということか。

(事務局)

事務関係と、相談室関係のものになる。

(事務局)

補足になるが、複合施設の対象として、高齢者福祉センターは、社会福祉協議会と包括支援センターも入っているため、事務所機能というところも参考になるかと思う。

(委員長)

どこまで機能を盛り込むのかという話はあるが、給食センターのようなものや、カフェや飲食を提供するとか、そういう事例があれば見せていただけたらと思う。また、デイケアで使われているものや、昔ならRCの建物だったが、今なら木造のものなどあれば見せていただくと良いかと思う。

(委員)

現在の総合センターの調理室は、生涯学習などでいろいろな人が作るのに利用している。そのような機能は入らないのか。

(事務局)

今後、機能・設備として盛り込むか検討していく内容になる。総合センターと高齢者福祉センターでは重複する機能も多い。例えば使っていない会議室も多く、ホールも体育館のよ

うな形になっている。重複する部分を消しつつ、必要とされる、希望されるような施設として、先ほど話に出たような喫茶機能など、ご意見を集約して構想を策定したいと考えている。調理室も一つの機能として検討していくことになる。

(委員長)

ひとつの場所で機能を重複できると面積の節約になりコスト削減できる。調理室と高齢者用の食事を作るための施設を兼ねるなど検討出来ればと思う。また、これまでにない使い方をすることも考えられる。我々が考えられないような工夫・例を挙げていただくと良いかと思うので、よろしくお願いします。

(委員)

施設は避難施設としても使われるのか。

(事務局)

もちろんその機能も考えていきたいと考えている。

(委員)

熊本の地震の際に炊き出しをするにあたり、電気・ガスが使えず、薪が役に立ったということを知っている。そういった機能も考えてもらいたい。

(事務局)

参考にさせていただく。

(委員)

2泊3日で行くのが難しい方が、指宿で挙げられた事例など、日帰りで参考になる身近な事例を見に行くということも考えられないか。

(事務局)

日帰りの事例視察も考えたいと思う。

(委員長)

2日目の太子町の施設は30年前のものなので適切なかどうかと思っている。神戸市の例もまちなかで、財源のあるまちであるので、いかがかなと思っており、安井建築設計事務所以外の例も見られればよいと思う。

(事務局)

あらためて検討してお知らせしたいと思う。

(事務局)

私たちが施設へ視察のお声掛けをしやすいこともあり、設計に関わったところを挙げているが、太子町については確かに古いものの、理由としては、平群町の総合文化センターはホールが可動式の段床であり、比較のため固定席の施設があった方がよいと考え、挙げさせていただいた。

(委員長)

年代が違くと、床の違いというよりは、きれいさの違いで判断することもあるかと思うため、他の条件が整っているところもご検討いただきたい。

(委員)

日程的には急と言えば急である。それはそれとして、職員での検討会も始まっているということだが、施設等の視察は、庁内で検討を行っている職員も入った視察になるのか、検討委員会だけの研修になるのか。

また、本委員会で検討されていることと庁内検討委員会で検討されていることを繋ぎ合わせながら進めてもらえたらと思う。

(事務局)

庁内検討委員会は10月30日に開催し、内容については策定方針やスケジュール、住民アンケート案を説明し、今回の会議資料は庁内検討委員会での意見を踏襲して作ったものとなっている。

庁内検討委員会と本委員会は交互に開催するスケジュールとなっており、それぞれの意見を共有させていただく。また、視察研修については、庁内検討委員会のメンバーであり、この複合施設に特に関係のある社会教育課長や福祉課長にも声掛けしており、研修した内容についてもそれぞれの会議でも情報共有していこうと考えている。

(委員長)

庁内の検討委員会が実施されたということであれば、議事録のような形で入れていただくと、どのようなことが議論されたか参考になると思う。

(6) 住民アンケートについて

(委員)

問6～8について、問6、8はあてはまるもの3つを選び、問7はあてはまるもの全てとなっている。どのような根拠で分けたのか。

(事務局)

3つと限定したのは優先的なものを明らかにしたいという意図である。

(委員)

アンケートはいきなり封筒が届く形になるのか。事前に町の広報で案内したほうがいいのではないか。

(事務局)

12月の広報で周知予定である。また、ホームページでも周知する。

(委員)

配布するのは郵送なのか。お年寄りだと気づかない人もいる。その場合は振興会長経由の方が届きやすいのではないか。

(事務局)

振興会の加入の有無に限らず全世帯に配布する。郵送配布としたい。

(委員)

郵送だと受け取りが難しい人に個別対応ができないのか。

(事務局)

対象者の抽出や個別の対応が難しい。

(委員)

返信用封筒による提出ではなく、役場に直接持ち込みでも良いのか。

(事務局)

良い。

(委員)

あてはまるもの3つと限定している設問について、限定しなくても良いのではないかと。すべて○をつける人はいないのではないかと。優先順位をつけたいなら上位3つと記載したほうが良いのではないかと。

(事務局)

ご意見を参考にします。

(委員)

問7、8の設問の順序について、逆にした方が良いのではないかと。

(事務局)

問8は既存機能については聞いていない。その他の機能という扱いで、この順序としている。

(7) その他

(事務局)

研修の日程について、お示ししているとおりであり、現状で出席者は多くない状況であるが、構想・計画を協議するために、できるだけ早い時期に視察して参考にしていきたいと考えている。研修先については意見を踏まえて再調整を検討したい。未回答の方や都合が付く方は明日の午前中までにご連絡をお願いしたい。また、日帰りの研修についても検討したい。

(委員長)

施設の見学は30分だとパッと見て終わりになるためもう少し時間を取っていただくとよい。また、できれば、視察先を減らしてでも、困っていることなど運営のことについてもヒアリングできると良いかと思う。

(事務局)

了解した。視察へ行けない方にも研修の内容は報告させていただく。

(委員長)

次回のスケジュール調整をしたい。

(事務局)

次回は1月18日(木)13:30~とする。